

# 「消防学校ニュース」

平成 29 年 9 月 4 日発行



台湾の訓練センターの皆さんがいらっしゃいました



県民の日にたくさんの子供たちが来てくれました



## 台湾政府内政部消防署訓練センター 視察団来校!

平成 29 年 8 月 23 日(水)、台湾政府内政部消防署訓練センター視察団一行 10 名(李明憲センター長、謝志強科長の外、教官 7 名と通訳 1 名)が来校しました。視察団は、23 日午前に来校し、昼食の後、県内視察。24 日午後再度来校し、夜は清水区内にて県庁危機管理部の職員も交えての懇親会。その夜は、初任科生たちが寝泊りしている学校寮で一泊し、25 日朝、学校を出発していきました。非常に忙しい行程ではありましたが、李明憲センター長からは、「消防技術の向上を図るため、今後、静岡県消防学校との交流を深めていきたい。」とのお話をいただきました。澤野校長は「特別なおもてなしはできないため、ありのままの本校を体験してもらおうこととした。そうした自然体でのお付き合いが今後、より太い絆、本格的な交流につながっていくことを期待したい」と視察団にメッセージを送りました。



李明憲センター長(右)から記念品等を受け取る澤野消防学校長(左)

校長から歓迎の挨拶、学校の概略と職員の見学、李明憲センター長からも来校に当たっての挨拶がありました(23 日午前 北寮にて)



## オネガイシマ〜ス



消防学校ルールにより、食堂に入る時は「お願いします」で敬礼! 視察団も早速実践して、学校食堂での昼食へ。

海外からのお客様といっても、お出しするのは初任科学生達と同じ物。メニューは豚キムチ炒め、春巻きなど(たまたまこの日は中華風)。視察団の食欲は相当のものだったとか...



## 消防学校ネクタイとアポロキャップをプレゼント!



視察団全員への消防学校土産として、ネクタイとキャップを準備しました。学校のネクタイということが分かるように、校長と副校長は暑い中ネクタイを着用して記念写真に納まりました。



訓練センター視察団とともに、消防学校職員、県庁危機管理部職員が記念写真

静岡県では、平成 26 年 2 月に、台湾の基隆市、桃園県(同年 12 月に直轄市へ昇格)など 4 市 2 県の消防局と「防災に関する相互応援協定」を締結しました。平成 29 年 1 月には、台中市政府消防局とも同様の協定を締結し、併せて、県内消防職員(本校の坂口副校長を含む)を台湾政府内政部消防署訓練センターに派遣し、台湾の消防職員との交流を図っています。最近では、三連はしごを初めて導入する台湾訓練センターからの要請により、本年 6 月に日本三連はしご研修会の講師として県内消防職員 3 名を派遣しています。台湾は防災に対する関心が高く、本県の防災先進性を高く評価しており、現在台湾の 6 市 1 県の消防局を中心に、訓練の相互視察等、防災に関する交流を継続し、協力関係の維持・拡大を図っているところです。

台湾訓練センターと本県消防学校の教官の相互訪問や合同訓練の実施等による消防技術交流の拡大で、本県と台湾双方の防災力・消防力の強化が図っていければ、そして今回の台湾訓練センターの来校、教官同士の出会いがその第 1 歩となれば... と思います。

## One Shot ワンショット(チョイネタ)コーナー

8 月 24 日(木)の懇親会の席で教えてもらったこと... 台湾流お酒の飲み方... 自分で飲む酒は自分で注いで飲む! 基本は手酌。それから、食べる物はしっかり食べて飲む! さて、乾杯は... 『乎乾啦』(ホッターラ) 飲む相手を指名し、或いはテーブル全員に対して自分のグラスを向け、「一緒に飲みましょう」というゼスチャーをして相手に乾杯を促します。ただし、乾杯は「杯を乾かす」ということで一気に飲み干します(日本で言う一気飲み)。その晩の懇親会では、随所で『乎乾啦』(ホッターラ)が響き渡りました。

出発の朝、李明憲センター長、澤野学校長が再会を約し硬い握手





# 消防学校訓練体験

8月21日(月)



校長も  
小沼主任も  
“ソフト”に  
皆さんを歓迎



消防学校では、「県民の日」制定以来、県民の日になんだイベントとして、毎年度「消防学校訓練体験」を開催しています。

本年度は、担当の総務課 小沼仁美 主任が、近隣の小学校、店舗、駅、新東名サービスエリア等にポスターやチラシを配るなど、広報に力を入れてくれたおかげで、定員を上回る 158 人(子供 92 人、大人 66 人)の皆さんの参加を得ることができました。

現在本校で教育訓練を受けている初任科第 87 期生たちは、受付、案内・誘導、各訓練の指導・サポート、そしてラストの訓練展示と大活躍。消防職員を代表する“広報マン”として、いろいろなアイデアを織り交ぜながら、お越しいただいた皆さんの安全と楽しい時間を確保し、来校からお帰りまで、消防学校の“おもてなし”を実践してくれました。

参加した子供達の夢の実現を後押しする、有意義な一日となりました。

今回の訓練体験参加者に対して、1世帯に1枚のアンケート用紙を配布し、感想や意見等をお寄せいただきました。(回収率 87%)  
訓練内容について、良かったものには「◎」、普通なら「○」、良くなかったものは「×」を記入してもらった結果により、今回実施した訓練項目の順位付けをしてみました。主な感想等も掲載しましたので、ご覧ください。

第1位(◎96%)

## ロープ渡り



- ロープの結び方が楽しかった。
- いろいろな渡り方をやりたかったようです。
- 楽しかったけど、おちんちんが痛かったそうです。
- 小さい子でもしっかり支えてくれて安全に楽しめました。
- とっても貴重な体験!! お面などカワイイ工夫も◎。



## 放水体験

第1位(◎96%)



- 制服も着せていただき、補助もしっかりしていただいて楽しめました。
- 消防士さんのお仕事を身近に感じられたと思います。
- 恥ずかしいけど大人(親)もやりたかった。



第3位(◎94%)

## 消防車試乗

- 実際に乗って走行するのは初めてでした。素晴らしい!
- いろいろな消防車があるんですね。
- 大人も乗れて良かった。
- 救急車も試乗できたら嬉しいです。



スタンプラリーを行い、  
全種目を体験した  
子供達に  
ヨーヨーをプレゼント！



- ここでしかできないので、とても良かったです。
- 中が迷路で本格的でした。
- ボンベを背負いたかったです。
- 思った以上に怖くてびっくりしました。
- 下の子は無理でした。

## 煙体験

第4位(◎91%)



第5位(◎83%)

## 花火教室



- 今日の夜花火をやるので、ちょうど良かったです。
- 子供にも分かりやすくて良かったです。
- お兄さんたちの劇が分かりやすく、子供が楽しんでいました。
- 花火の怖さがイマイチ。楽しくて忘れていた様子だった。



第6位(◎70%)

## 写真撮影

- キャラクターよりも実際に着用しているお兄さんたちと撮れたのが良かった。
- ゆるキャラと制服の写真は記念になり良かった。
- 着ぐるみが苦手で参加できず。



## 起震車体験

第7位(◎68%)



- 東海地震を体験させてもらい、心配になりました。この揺れで息子を守るか心配です。
- 地震の怖さはどこ？楽しそうになってしまった。
- 他の場所でも乗ることができるので、ここならではのものをやってほしい。

## その他いろいろなコメントをいただきました

- 生ぬるい夏休み中の息子に湯が入りました。半日とても楽しんで「宇宙飛行士」から「消防士」に夢が変わったようです。
- 訓練生の皆さんの明るさと力強さがとても印象的でした。
- 学校に入った時から大きな声の挨拶で迎えてもらえて、とても気持ち良かったです。
- どこも丁寧に対応していただき、ありがとうございました。消防士さんになりたいと言っています。
- 学生の皆さんが一生懸命準備してくれた様子が伝わってきて良かったです。

- このような経験は子供達の将来や今後の生活の中でも必要なことと感じました。来年も参加したいです。
- キリッとした消防士の方を見るといつも気持ちが良いです。質問ブースを設けてくれると嬉しいです。
- 生徒さん達が礼儀正しく好感が持てる。今後各配属先で頑張ってもらいたい。
- これからテレビなどで消防士さんの姿を見るたびに今日のことを思い出すと思います。
- 全体的に、未来の消防士を目指す子供達に良かったです。



来校した皆さんの訓練体験が一通り終わった後、初任科学生達による各種渡過訓練と模擬家屋の消火が披露されました。ロープ渡りや放水を体験した子供達から大きな声援が送られました。

今回の訓練体験では、県の各所属の御厚意により御提供いただいた品を参加いただいた皆さんへのお土産といたしました。また、浜松市消防局、志太消防本部等の御協力により、「ゆるキャラ」の「出世大名 家康くん」「ぼんぶ君」達が「ふじっぴー」の応援に駆けつけてくれました。なお、訓練の様子は、静岡第一テレビの「every静岡」、静岡新聞の特集「動画deしずおか」で取り上げていただきました。皆様、ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。皆様の御意見等を踏まえ、来年度も頑張りますので、どうぞよろしく願います。

